

緑のボランティア通信

2012.10.1

No.22



みどりのちびっこボランティア育成めざし、「こども黄緑クラブ」快進撃!



「こども黄緑クラブ」は平成22年度から取り組まれたこども向けの自然体験教室です。次世代の緑のボランティア育成を意識し、楽しみながら四季の自然に親しみ、川崎のみどりを守り育てるこどもたちを応援するプログラムとしてスタートしました。

初年度は、花壇づくりや昆虫観察、紙漉き、原木しいたけのコマ打ち等をのべ77人のこども達が体験しました。翌23年度は、関心の高かった「昆虫」をテーマにプロのナチュラリストや専門の研究者を講師に迎え専門性の高い内容に73人の参加者を得ました。緑化センターの木々や水辺、草原の環境を活用し、そこに棲む虫達の生態から、生物多様性に果たす緑の役割を考えるきっかけづくりになりました。あわせて小中学校の総合学習等へのプログラムづくりにも活用され、活動団体支援にもつながりました。

そして3年目を迎えた今年度は、夏と冬は小・中学校の長期休暇等に保護者も含めた親子プログラムとし、春と秋は平日を活用して未就園児と若い親の世代の獲得を狙います。生きもの探しや草花遊びを楽しみ、親子で自然の中で思いっきり体を動かすことにより、豊かなふるさと川崎を体感してもらいます。

「こども黄緑クラブ」のこれからの予定は、以下の通り。ふるって申し込みください。

秋編 10月4日(木)未就園児とその保護者対象

冬編 25年2月16日(土)小学1年生～中学3年生とその保護者対象

多くの申込み
ありがとうございました。
定員を超え
締め切りました!



かわさき緑のイメージキャラクター
緑の妖精 グリンピー

目次

「こども黄緑クラブ」快進撃!	1
かわさき花と緑のe-クイズ Q&A/協会ニュース	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
ツリー・ウォッチング	4

＊ かわさき花と緑の e - クイズ Q&A ＊

Q 「かわさき花と緑のe-クイズ」って何ですか？

A 多くの方に川崎の自然に親しんでいただくためのクイズで、花や緑に関する知識や文化、花壇の手入れ方法など、全10問です。

Q 内容は入れ替わりますか？

A はい、季節毎に年4回入れ替わります。秋編がスタートしましたのでチャレンジしてみてください。

Q アクセスの仕方を教えてください。

A 川崎市公園緑地協会ホームページ (<http://kawasakigreen.securesites.com/>) からアクセスできます。

協会ニュース

実施報告！

◆ 緑化推進リーダー育成講座が始まりました。

今年度の花と緑のまちづくり講座(緑化推進リーダー育成講座)が24人でスタートしました。初回は「川崎市の緑の基本計画」や市内の緑の動向を学習しました。今後、花壇づくりの基礎知識やデザインの考え方を学び、実際に花植えを体験しながら学習を深め、来年1月の最終回では花と緑のまちづくりを提案して修了します。地域の緑化活動の核となる人材育成を目指します。



お知らせ！

◆ 川崎市建設緑政局緑政課より「第3期かわさき緑レンジャー募集」のご案内です。

市域で保全された緑地を「安全で美しい里山」に再生させる取り組みの一環として、保全緑地の危険木の調査や、行政への情報提供、市民の里山保全活動に対する助言などを行なう緑レンジャーを募集します。詳しくは、電話(044-200-2381)までお問い合わせください。

◆ 川崎市環境局環境調整課より「川崎市生物多様性フォーラム」のお知らせです。

多様な主体による生物多様性保全の取り組みの大切さについて、講演や活動事例の紹介をおこないます。日時：10月14日(日) 会場：川崎市総合福祉センター(エポックなかはら) 詳しくは、電話(044-200-3720)までお問い合わせください。

◆ 川崎市建設緑政局緑政課より「深まる秋を感じて稲城・多摩・川崎・町田 市境の緑を歩く」

多摩・三浦丘陵の緑と水景に関する広域連携会議主催のウォーキングラリーの参加者を募集します。11月10日(土)京王線若葉台駅(稲城市立iプラザ)から小田急線鶴川駅(鶴川駅前公園)まで全長約10kmを歩きます。受付方法等、詳しくは電話(044-200-2400)までお問い合わせください。



まほろばの会 (2004年設立)

活動場所 菅馬場谷特別緑地保全地区 (多摩区菅馬場2-29)
交通案内 小田急線「読売ランド駅」より
小田急バス「寺尾台団地行」終点下車徒歩1分

約40年前に建設された「寺尾台団地」の裏山が雑木林になっています。有志が半年に1回、通称「まほろばの道」の清掃をしながら、川崎市に対し緑地保全のための里山公園化の要望をしてたところ、平成14年3月に緑地保全地区として指定されました。それを契機に近隣住民に呼びかけ、緑地保全の会「まほろばの会」が結成されました。現在15名ほどの会員が毎月第3土曜日に約2時間半、遊歩道作り、下草刈り、枯れ倒木の整理、清掃などに汗を流しています。



参加者は年輩者が多いですが、子ども連れで参加する家族もいて、林の中に休憩ベンチを設けたり、樹木名札を掲げるなど、子どもから高齢者までが楽しめる里山造りを目指しています。作業のほかに、植物観察会や緑化保全活動の情報交換なども行っています。

新たに「東生田自然遊歩道」の一部に加わり、2~3人連れのハイカーがよく訪れるようになりました。また、リハビリに利用している近隣の高齢者や歩行困難な方からは「この森へ来るとパワーをもらいます!」と喜んでもらっています。なにより、活動を通して、地域住民の輪(和)が広がりつつあるのがうれしい副産物です。

(鈴木 経彦)

新川崎ふるさとづくりの会 (1998年設立)

活動場所 さいわいふるさと公園 (幸区新川崎308-5)
交通案内 JR横須賀線「新川崎駅」より徒歩10分

「新川崎ふるさとづくりの会・コミュニティガーデン維持管理グループ」の活動の場は、幸区に新設された「さいわいふるさと公園」内にあり、活動メンバーは15名です。私たちが維持管理するコミュニティガーデンは、トレリス、パーゴラ、レイズドベッド。また、ボーダーガーデン風に整備された四季花壇は、ハーブ、バラを主体とし、四季折々の花々が咲き、散策に訪れる人々を優しく迎えています。



みも兼ね、花のフェスティバル、ガーデン見学会などに取り組み、花の使い方や花の品種などを参考にし、花壇造りに生かしています。環境に優しい園芸を進めるため、川崎市が推進している生ごみリサイクルにも参加し、手軽なダンボールコンポストで堆肥をつくり、土壌改良とCO₂の削減に取り組む予定でいます。

14年間の花好きの仲間は、花に触れ合うことで和気あいあい、元気とお口達者をいただいております。

(有島 淑子)



この秋、常識はずれ?の樹を見つけてみませんか?

植物にも、ちょっと“普通でない?”植物たちがあります。私たちの常識を、改めて見直させてくれる木々に会いに行ってみませんか?今回は、ときどきニュースにもなるそんな“常識はずれ”な木々を取り上げてみました。

No. 16 十月桜(ジュウガツザクラ)

ここは富士見公園内の川崎市立川崎病院側、川崎球場の裏側です。

“さくら”は春の花、でも桜のご先祖は、もともと秋に花をつけていたそうですよ。これらの木々は“先祖返り”かも知れませんね。このジュウガツザクラは、毎年10月頃から翌3月にかけて、少しずつですが、次々に花を咲かせる不思議な桜の木です。ぜひ、秋の花見に訪れてみてください。



富士見公園

住所 川崎区富士見2丁目
交通案内 JR「川崎駅」東口より
徒歩10分

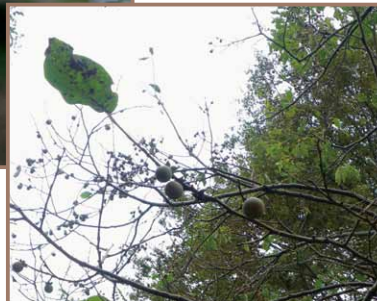
No. 17 豆柿(マメガキ)



ここは川崎市緑化センターの西園、水車小屋の手前。名前が示すように、まるで“豆”のような柿が熟しています。ふつうの“柿”の実に比べ、とっても小さく直径1~2cmの果実なのです。葉の大きさは、普通の“柿の葉”と変わりませんので、写真の中の葉の大きさと比べても、実の小ささが分かると思います。このマメガキはアジアに広く分布(自生)する木で、栽培される“柿の木”の先祖ともいわれています。味は初めは渋く、霜

にあたると甘くなります。昔は“柿渋”を採るためによく栽培されていたようですね。

11月10日(土)には、緑化センターまつりが催されます。この機会に、見に行ってみませんか。



川崎市緑化センター

住所 多摩区宿河原 6-14-1
交通案内 JR南武線「宿河原駅」下車 徒歩5分

このコーナーでは、川崎市内の銘木・珍木・希少木の情報を募集します。
あなたのご近所の“地名の由来にもなった銘木”や“巨樹”、“珍しい花が咲く木”“変わった風景の木”、“調べてほしい不思議な木”などの情報をお寄せください。取材して、このコーナーで紹介いたします。